

国際交流

International Exchange

オークランド大学夏期語学研修報告 (期間: 2015年7月18日~8月8日)

2015年7月18日(土)から8月8日(土)にかけて、医学部第1学年安達美桜さん、徳重詠子さん、中谷慧子さん、沼口孟史さん、前廣由紀さん、増田萌乃さん、宮澤 攻さん、医学部第2学年赤井祐子さん、大乘志帆さんの9名がニュージーランド オークランド市にある本学推薦校のオークランド大学での3週間の語学研修プログラムに参加した。

(国際交流センター)

かけがえのない3週間

おのり しほ
大乘 志帆 (医学部第2学年)

医師となる上で英語を深く学習していくことがとても大切だと考えており、椅子に座って学ぶ勉強だけではなく、実際に現地で英語に触れて学びたいと思いました。また、ずっと両親と共に生活しているため、親元を離れることにより、自立した生活を送る経験をしてみたかった、ということも研修に参加した理由の一つです。

授業は文法を学ぶものと、多くの学生たちと一緒にプレゼンテーション等をするスピーキングの2種類がありました。文法の授業は日本で学習したことがある内容が多かったのですが、英語を英語で学習することで、また新たな学びがありました。スピーキングの授業では、他国籍の学生たちとプレゼンテーションを考えたり、課外学習に参加し、とてもよい経験になりました。先生方はとても優しく、私が先生の言っていることが完全に理解できなかった際は何度も説明し、理解できているか気にかけてくださいました。

私はニュージーランドへ行くのが初めてだったので色々な経験をしたいと思い、週末にはスキーとホビット村へ行きました。ホビット村は映画「ロード・オブ・ザ・リング」で観ていた光景そのものが目の前に広がっていて、とても感動しました。また授業が午前中のみだったので、平日の午後でもスカイタワーやミッションベイに行くことができました。道がわからない、どのバスに乗ればよいかわからないと困っている時、必ずと言っていいほど現地の方が話しかけてくれて、私たちの拙い英語を頑張って理解し、何度も助けていただきました。

3週間という短い期間だったので、英語力が飛躍的に伸びた、ということはおそらくないと思います。しかし、自分の英語では理解してもらえなかったことがあったり、自分より優れた英語力を持った学生に多く出会ったことで、自分の英語力がまだまだ足りないことや努力不足だったと自覚できたことは本当に良かったと思います。親元を離れて3週間生活したことは、もちろんホームシックになることもありましたが、自立する

という意味ではいい経験になりました。そしてこの研修を通して、多くの友人ができました。彼らと出会えたことは一生の財産になると考えています。

研修に参加して、もっと英語が上手になって、日本語と同じように自分の思っていることが相手に伝えられるようになりたいと感じました。日本で行っている英語学習も、机に向かって文法や単語をただ暗記するだけではなく、生で英語に触れることも大切だと思いました。自宅でもCNN等の海外ニュースを見ることができるので、最初は理解するのは難しいと思いますが、まずは耳を慣らしていくことから始めようと思います。

研修参加学生の中では、自分が最高学年でしたが、自分が辛かった時、後輩たちにたくさん支えられました。また、後輩が自分を頼ってくれることに喜びを感じた瞬間もありました。これから先、自分より年下の人たちを引っ張っていく、といったことは絶対あると思うので、この経験や感じた気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。そして、またこのような機会があれば是非参加したいと思いますし、その時までには今よりも英語力をもっと向上させたいと思います。



前列左から前廣さん、赤井さん、安達さん、徳重さん。後列左から沼口さん、筆者、中谷さん、宮澤さん、増田さん